アイテクトTD型

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この製品を正しくお使いいただくため、ご使用前には、この取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書はいつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

●引越し等により転出される場合は、この取扱説明書を次期入居者または、管理人に必ずお渡しください。

●この取扱説明書を紛失または汚損した場合は再発行いたしますので、当社までお申し出ください。

取扱説明書

この取扱説明書はお客様が、本製品を末長く適正な使用をしていただくための説明、注意事項が記載してあります。必ずお客様のお手元にて保管しておいてください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

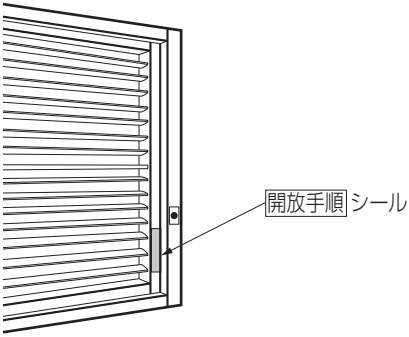
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷並びに財産の損害を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または製品の寿命をいちじるしく短くする可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

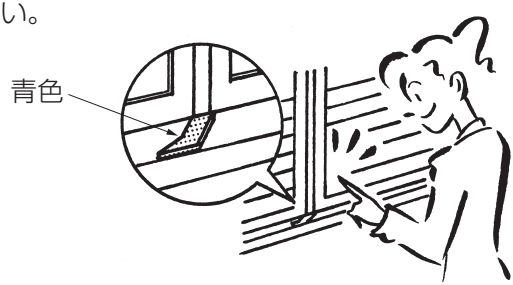
⚠警告

非常時(又は通常時)には開放手順に従って開放させてください。
(開放手順を示したシールは解除ボタン付近に貼ってあります。)



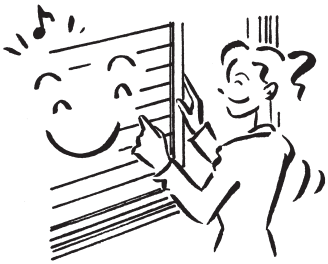
通常時に扉を開放した場合ご用が済んだあとは、必ず扉を閉める方向(左側扉の場合は左へ。右側扉の場合は右へ)にカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

「ガイドレール」の中央上・下にある「切換ポイント」の爪は常に青色に切換っていることを確認してください。赤色の場合は「扉」の開閉はできません。非常脱出のとき、大変危険です。
赤色になっている場合は、ドライバーの先端などで必ず青色に切換えてください。



⚠注意

開閉操作時には「扉」と本体枠の間に手・指などを挟まないようにしてください。「扉」の開閉はやさしく行ってください。



「羽根」に物を吊したり、「羽根」と「羽根」の間に物をはさまないでください。又、「羽根」を手などでムリに動かしたり、「羽根」にムリな力を加えないようにしてください。

「扉」本体と「ガイドレール」との接触面にゴミ・異物が付かないようにしてください。

※ゴミ・ホコリがたまりやすい場所なので、年１回の掃除をおすすめします。
※ゴミ・ホコリがたまりすぎますと、開閉に支障をきたす恐れがあります。

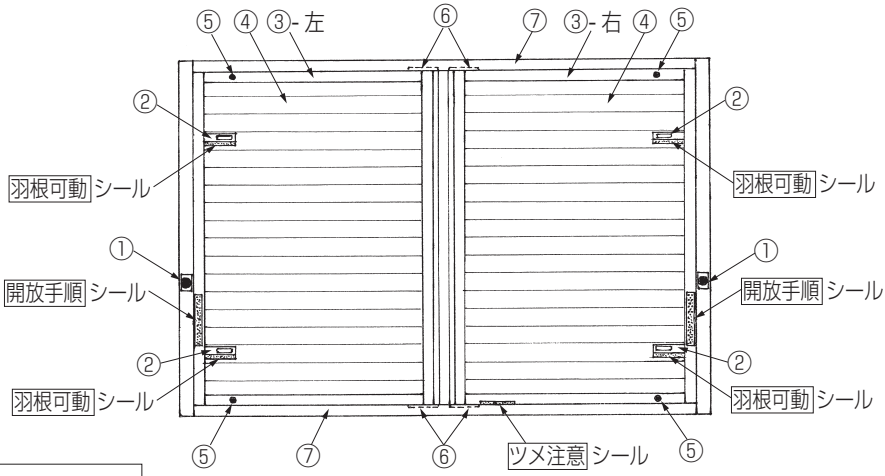
絶対に分解・改造は行わないでください。

防犯上、ご就寝時やお出かけの際は、必ず窓を閉じ、施錠してください。

－中ページ③ につづく－

各部の名称

■面格子ユニットの内観および部品名称（室内側から見たとき）

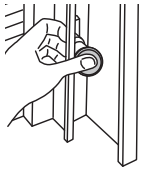


① 解除ボタン
② 羽根可動レバーハンドル
③- 右 扉（内観右側）
③- 左 扉（内観左側）
④ 羽根
⑤ 戸当り
⑥ 切換ポイント
⑦ ガイドレール

開放手順

①
羽根をしめる
羽根可動手順による

②
赤いボタンを押す



図の様に枠に指をかけて親指で赤いボタンを押すとロックが解除されます。

かならず羽根を全閉にしてからボタンを押してください。

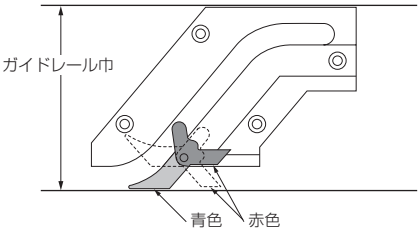
③
扉を開ける

NA06-1

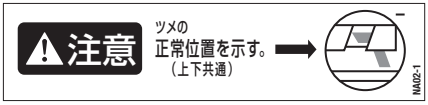
開放手順 シール

固 定 ⟷ 羽根可動 ⟷ 固 定
羽根可動操作後は必ずハンドルを固定側に倒して下さい。
NA01-3

羽根可動 シール



切換ポイント⑥爪部



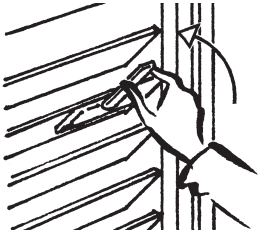
ツメ注意 シール

開閉操作の方法

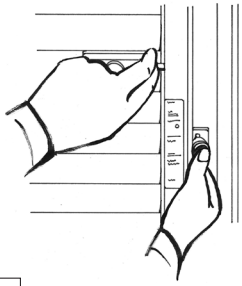
この面格子は非常開放面格子です。非常の場合に、室内側から開放するときは、この操作手順に従ってください。なお、開放手順を示したシールが、解除ボタン付近に貼ってあります。

開け方

1 羽根を全閉にする。



2 解除ボタンを奥まで押し込みながら、左図の様に羽根可動レバーに手を掛けて開放してください。非常の場合は大きく開けてすばやく避難してください。



解除ボタンを
押し込んだまま

閉め方

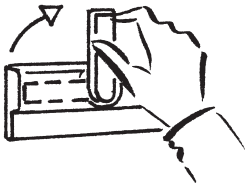
扉本体の上下に手を添えてカチッと音がするまで閉めてください。

※注意！ カチッと音がするまで閉めないと、
開放に支障をきたす恐れがあります。

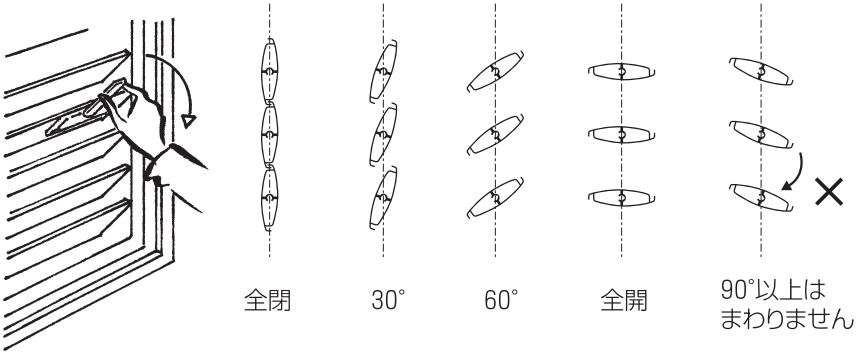
羽根可動の方法

■「羽根」の可動方法（左右共通）

1 「羽根可動レバーハンドル」を垂直方向に立てる。

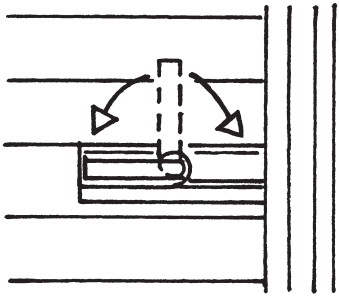


2 「羽根可動レバーハンドル」を持って「羽根」の角度調整をする。角度調整は、“全閉”“30度”“60度”“全開”の4段階で固定します。中間では固定できません。



※羽根可動操作は、ゆっくり行ってください。無理な操作は思わぬ事故やケガにつながります。

3 「羽根可動レバーハンドル」を左右いずれかに倒し羽根角度を固定する。



■留守をされる時、またはお休みの時は、防犯上羽根の可動位置は 30 度または、全閉にされることをお勧めします。

■羽根角度を固定した状態でも、構造上クリアランス（すきま）を設けているため、少しの動きが発生しますが、故障ではありません。

日頃の点検について

非常時には面格子本体が確実に開放できて、安全な避難路が確保できるよう、日頃の点検を大切にしてください。

⚠注意

必要以外の開閉操作はしないでください。

点検項目

■「開閉操作の方法」に示した方法で、確実に開閉できること

■解除ボタンの操作がスムーズにできるだけのスペースが室内側に確保されていること

■外側窓枠下に、避難を妨げるようなもの等を置いていないこと

■取付金物・ねじなどにゆるみがないこと

ー表ページ⑦につづくー

日頃のお手入れについて ⑦

日頃のお手入れは、製品を長く、安全にご使用いただくために大切なことです。

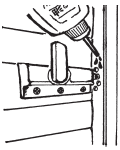
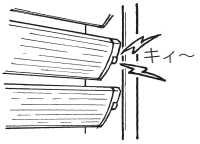
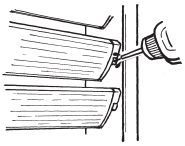
⚠注意 ❗ 上下の桟 および 羽根にほこり、雨水が付いたときは、こまめに拭きとってください。

お手入れの方法

■上下の桟 および 羽根の両面には、ほこり、ごみ、異物などが付きやすいので、化学モップなどで念入りにお掃除をしてください。
■洗剤をご使用の場合は、中性洗剤を薄めてお使いいただき、その後カラ拭きをしてください。
■「切換ポイント」には、適時潤滑油（CRC5-56 など）を注してください。

故障かなと思ったら ⑧

■次のような場合は故障ではありません。もう一度お調べください。

こんなとき	調べるところ	なおし方
扉が開かない	反対側の扉が開いていないか	反対側の扉をしっかり閉める
	「上下切換ポイント」	切換ポイントの爪を青色に切換える
羽根が動かない	「羽根可動レバーハンドル」が倒れていないか	レバーを立てる
	「羽根可動レバーハンドル」を立てても動かない	図のヶ所に注油する（CRC5-56 など） 
羽根を開閉すると異常音がでる 	羽根の回転軸部 （湿気やほこりが付くことによりごくまれに、羽根回転軸部からこすれる様な音が発生する場合があります）	ほこり等を拭きとり軸部に注油する 

■それでも異常がある場合は、お買い上げ店（工務店）または当社までご連絡ください。

株式会社ナカムラ
〒660-0803　兵庫県尼崎市長洲本通 1-11-10
TEL.06-6488-0801　FAX.06-6488-3363